

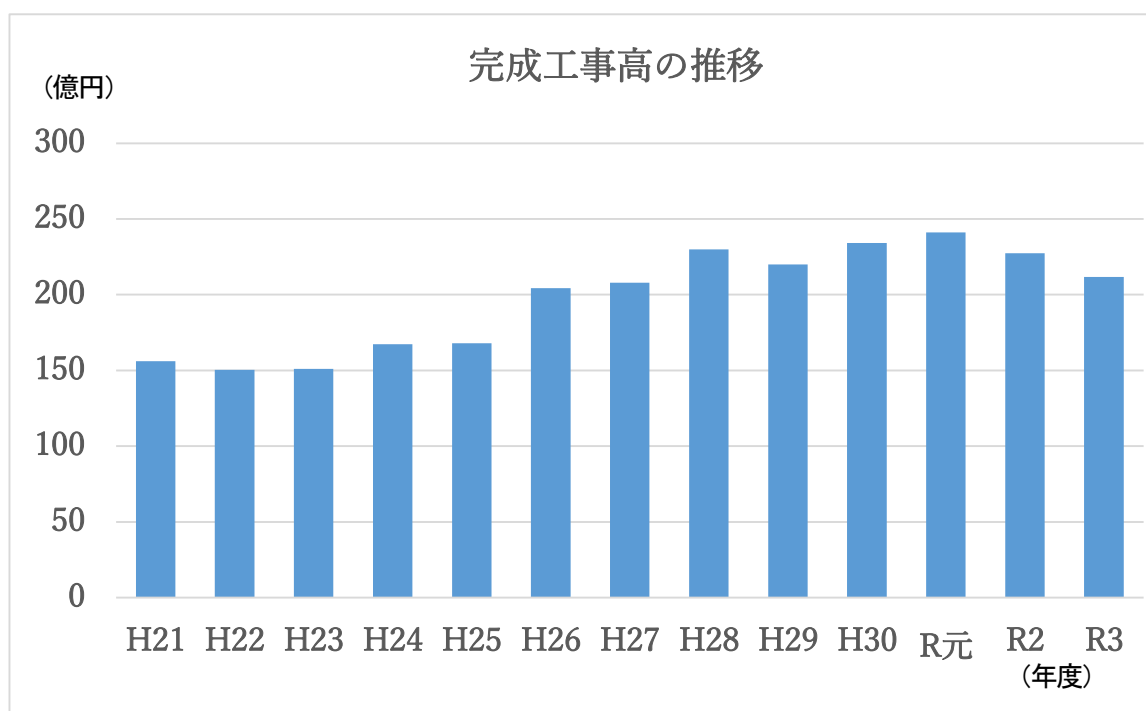
令和3年度事業報告（抜粋）

（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）

○全般の状況

新型コロナウイルス感染症の世界的流行により厳しい景気の状況が続き、令和3年度の東海道新幹線の輸送量も落ち込んでおります。緊急事態宣言がはじめて発令されてから約2年が経過したものの依然として終息が見込めないことに加え、半導体の供給不足、原油価格の高騰など景気動向は先行き不透明な状況が続いています。

こうした状況のなか、当社はJ R東海の計画に沿って工事を着実に進め、異常時には速やかに対応を行うことで、安全・安定輸送に貢献しました。



○事業部門別の状況

○軌道部門

J R 東海の計画に沿って P C まくらぎ更換やガードレール敷設を前期比 1.5 倍以上施工し、品質の良い、安全性の高い線路づくりに貢献しました。一方で、むら直しや橋まくらぎ更換は施工量が減少しました。

保守用車添乗指導員資格者の異常時対応および支援レベルの底上げ、技術力向上を図るための訓練会を開催しました。

○土木部門

J R 東海の中長期工事計画見直しに伴い、新横浜地区の大規模改修工事の施工量が増加しました。また、建築部門の体制を強化して課題であった高架下建物支障移転工事を鋭意推進するなど J R 東海の計画に沿って工事を着実に進めました。

中央新幹線建設工事では、山梨リニア実験線ガイドウェイパネル撤去工事を新たに受注したほか、工事従事者の資格取得を進めました。

[完成工事高 部門別内訳]

部 門	完成工事高 (単位：億円)
軌 道	1 0 7
土 木	1 0 4
合 計	2 1 2